

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2026 年 1 月 18 日 (16:30 ~ 17:00)
1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	道本泰之・宮崎恭子・花田愛子・岡田有沙・弘谷智子・岩田真由美・松田喜子・河野美穂・増野真弓・浅田律子・秋山寿美枝

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	9人	2人	人	人	11人

前回の改善計画	・カンファレンスノートの活用を継続する ・朝礼時や終礼時に気づきを発表し情報共有に努めていく
前回の改善計画に対する取組み結果	・改善出来ていた。気づきを各自、自発的に言い合えることができ良かった。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	7人	4人			11人
② サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	7人	3人	1人		11人
③ 本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	7人	4人			11人
④ 本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	5人	6人			11人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・カンファレンスノートの活用し細かい事も情報共有ができている。(確認後、各自でサインしている) ・朝礼、終礼で気づきを伝え意見を言い次に活かす事ができている。 ・送迎時や電話連絡で家族様にも声掛けをしている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・初期の情報から家族、本人様のニーズをくみ取りサービスを開始しているが、お互いが手探りの部分もあり支援が確立するのに時間を要することがある ・家族の不安やニーズをなかなか聞き取れていない時がある	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・初期の段階で家族様等にこまめに連絡を取り、支援の変更や調整を行うようにする。 ・カンファレンスノートの活用、朝礼・終礼時の情報共有は継続し行っていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2026 年 1 月 18 日 (16 : 30 ~ 17 : 00)
2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	道本泰之・宮崎恭子・花田愛子・岡田有沙・弘谷智子・岩田真由美・松田喜子・河野美穂・増野真弓・浅田律子・秋山寿美枝

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	9人	2人	人	人	11人

前回の改善計画	日々の支援の見直しや変化があった時には話し合いをして、情報共有し目標を立てるように努める
前回の改善計画に対する取組み結果	・しっかり取り組めた

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	2人	7人	2人		11人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	3人	7人	1人		11人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	3人	7人	1人		11人
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	5人	6人			11人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・毎日の朝礼で利用者様それぞれの目標を言い確認している。見直しや変更があればすぐに変更を行っている。 ・ご家族様と同居の方は、ご自宅での生活の様子を聞き参考にし、小規模ホームで可能な内容は実践している。 ・ご本人の満足度、達成感を感じていただけるよう、コミュニケーションを取り情報を得て、日々のレクリエーションや作業に取り組んでもらえるよう声掛け等工夫し行っている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・家族と利用者様の思いが違う場合、利用者様のニーズができない場合がある。 ・認知症の進行によりご本人の状態や思いが日々違うことがあり、ニーズをくみ取ることが難しい方がいる	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・ケアマネージャーを中心に更にご利用者様の現在の状況を把握し (家族への聞き取り、自宅の様子の観察等)、「～したい」の実現を目指し支援を行えるようにする	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2026年 1月 18日 (16:30 ~ 17:00)
3. 日常生活の支援	メンバー	道本泰之・宮崎恭子・花田愛子・岡田有沙・弘谷智子・岩田真由美・松田喜子・河野美穂・増野真弓・浅田律子・秋山寿美枝

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
① 前回の課題について取り組みましたか？	7人	4人	人	人	11人

前回の改善計画	
ご利用者様の体調の変化や、気持の変化などを、ミーティングやカンファレンスノートを活用し情報共有して統一した支援が出来るようにしていく	
前回の改善計画に対する取組み結果	
職員で情報共有でき統一した支援ができた。その結果小規模ホームで対応が難しくなった方は、本人にあった施設に繋げることができた。	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
① 本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	2人	7人	2人		11人
② 本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	9人	2人			11人
③ ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	5人	6人			11人
④ 本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	9人	2人			11人
⑤ 共有された本人の気持ちや対象の変化に即時的に支援できていますか？	6人	5人			11人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ご本人の気持ちや体調の変化に気づいたときは、その都度情報共有できている ・変化があった時にはミーティング等を行って迅速に対応し、統一した支援ができた	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・要望が聞けても、それをかなえる事ができない場合がある ・時間に限りがあるので、日常生活動作で必要以上に支援を行ってしまう事がある	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・訪問サービスの手順書をこまめにチェックし、変更があった個所を更新し統一した支援ができるようにする。 ・家族様やご本人に声掛けをこまめにし、日常生活の情報を聞き取るようにする	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2026 年 1月18日 (16:30 ～ 17:00)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	道本泰之・宮崎恭子・花田愛子・岡田有沙・弘谷智子・岩田真由美・松田喜子・河野美穂・増野真弓・浅田律子・秋山寿美枝

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	7人	3人	人	1人	11人

前回の改善計画	訪問や送迎時にご家族やご近所の方とのコミュニケーションを大切にし情報収集に努める
前回の改善計画に対する取組み結果	・訪問、送迎時にご家族、ご近所の方がおられたら声掛けや挨拶をしている ・ご家族への連絡、報告、相談など些細な事でも行えている ・ごみ捨てが困難な時には「ふれあい収集」を利用している

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	5人	6人			11人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないうように支援していますか？	2人	9人			11人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	2人	8人	1人		11人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	4人	4人	3人		11人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・家族様と接する際や訪問サービスをすることで生活スタイルは把握できている ・ごみ収集の「ふれあい収集」や配食弁当サービスは活用できている	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域との関係性が希薄な方が多く（認知症が進行し、一人では関係性が持てない）、切れないう支援が難しい ・民生委員さんとの繋がりを把握できていない	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・独居の方の地域との関わりに着目し、民生委員さん等と情報共有していく	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2026 年 1月18日 (16:30 ～ 17:00)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	道本泰之・宮崎恭子・花田愛子・岡田有沙・弘谷智子・岩田真由美・松田喜子・河野美穂・増野真弓・浅田律子・秋山寿美枝

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
① 前回の課題について取り組みましたか？	2人	8人	1人	人	11人

前回の改善計画	・地域資源の情報を集め活用していく ・目に見えないニーズも気づき必要な支援を柔軟に行っていく
前回の改善計画に対する取組み結果	・本人に必要なサービスを検討し、その時その時で柔軟に迅速に対応できた ・訪問サービスを増やしたり泊まりサービスを利用していただくことで、今まで気づかなかったニーズに気づく事ができた

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
① 自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	1人	9人	1人		11人
② ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	9人	2人			11人
③ 日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	10人	1人			11人
④ その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	10人	1人			11人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用者様や同居家族様の必要なサービスを臨機応変に（訪問、通い、泊りサービス）支援している ・買い物に一人で行けない利用者様には一緒に買い物に行ったり、移動販売を利用できるよう支援している ・状態変化は毎日共有し、対応策を考え変更をしている	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・認知症が進んでいる利用者様が多くなってきており、「ごみ収集」「配食弁当」「買い物」以外の地域資源がどのくらいあるのか把握できていない	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・ニーズと必要性をミーティング等でしっかり検討し、柔軟に対応していく ・認知症があっても地域での生活が継続できるよう、事業所以外のサービスや支援も利用していく	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	2026 年 1月18日 (16:30 ~ 17:00)
-----	--------------------------------

6. 連携・協働

メンバー	道本泰之・宮崎恭子・花田愛子・岡田有沙・弘谷智子・岩田真由美・松田喜子・河野美穂・増野真弓・浅田律子・秋山寿美枝
------	--

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	6人	5人	人	人	11人

前回の改善計画	
・地域の行事に参加する（市民センターの催し、認知症カフェへの参加継続）	
前回の改善計画に対する取組み結果	
可能な限り（職員人数や車両の手配等行ない）参加できるように努めた	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	6人	5人			11人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	9人	2人			11人
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	8人	3人			11人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	5人	6人			11人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・可能な限りサービス機関との会議や自治体、包括支援センターとの会議に参加した。 ・定期的に認知症カフェや子ども食堂、健康フェア、あじさいのつどいに参加できた ・地域の公民館の教室に行かれていた大正琴の方たちが演奏に来て下さったり、隣のグループホームさんと交流したりした ・地域に住んでいる元職員の方たちに行事の時は参加してもらった	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・職員不足もあり、度々会議やイベントに参加することができない ・いまだにコロナ等の感染症があるため、沢山の方を事業所に呼ぶ事ができていない。また、小規模ホームのホールが狭く、利用者様だけでいっぱいになること、送迎時間があるためイベントをするのが難しい	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・今まで行ってきた地域行事やイベント参加は継続して行っていく（市民センターの催し、健康フェアの参加、認知症カフェ参加等） ・少人数の地域の方が来てもらえるような活動を考え事業所に来ていただける場を作る	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2026 年 1月18日 (16:30 ～ 17:00)
7. 運営	メンバー	道本泰之・宮崎恭子・花田愛子・岡田有沙・弘谷智子・岩田真由美・松田喜子・河野美穂・増野真弓・浅田律子・秋山寿美枝

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	2人	8人	1人	人	11人

前回の改善計画	・地域に必要とされるための拠点であるためにはどうしたら良いかを話し合っていく ・運営推進会議での情報を職員全体で共有して、地域の困りごとにも目を向けていく
前回の改善計画に対する取組み結果	・訪問サービスを頻回に利用する必要がある利用者様を受け入れ、住み慣れた地域での生活が継続できるようプランを考え対応した ・運営推進会議で情報の共有をし、地域との関係を少しずつ考える機会を持つことができた

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	1人	8人	2人		11人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	8人	3人			11人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	7人	3人	1人		11人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	5人	5人	1人		11人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・職員の意見や提案等は自由に発言できており、利用者やご家族様からの意見も共有し迅速に対応している ・運営推進会議を通して情報共有し地域からの意見等も頂き運営に反映している ・民生委員さんからの情報で地域の防災研修等に参加できた	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域との協働した取り組みがあまりできていない。理由としては日々の業務に追われ、取り組む体制ができない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・地域と協働できることを見つけ実践する ・職員が自由に提案をしたり、利用者様、家族様から意見や苦情があった際はこれまで通り共有し運営に反映していく	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2026 年 1月18日 (16:30 ～ 17:00)
8. 質を向上するための取組み	メンバー	道本泰之・宮崎恭子・花田愛子・岡田有沙・弘谷智子・岩田真由美・松田喜子・河野美穂・増野真弓・浅田律子・秋山寿美枝

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	6人	5人	人	人	11人

前回の改善計画	・院内研修に積極的に参加していく ・研修に参加したら他の職員に学びを伝えていく ・リスクマネジメントについて職員全体で意識をしていく
前回の改善計画に対する取組み結果	・3つの改善計画は取り組むことができた

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	9人	2人			11人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	7人	4人			11人
③	地域連絡会に参加していますか	8人	2人		1人	11人
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	5人	5人	1人		11人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・毎月eランニング研修を受け、スキルアップ出来るようにしている ・リスクマネジメントに関しても会議や委員会、ヒヤリハット、研修を通じて情報共有・対策を行っている ・研修に参加した職員が、情報を伝えたり回覧した ・資格取得をした職員がいた	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・eランニング以外の研修に行けていない。職員不足により、業務時間内で他所の研修に参加することが難しい ・勤務の状況に（夜勤や公休日）より情報を得るのが遅れることがあった ・自らのスキルアップの為、率先して研修に参加する職員があまりいなかった。理由は研修等の情報収集を個々ができていない、体力的にも仕事だけで精一杯等の意見があった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・職場内の研修は継続的に参加していく ・サイボウズ（法人内での情報発信アプリ）を定期的に閲覧し、各自で参加したいものがあれば参加していく ・リスクマネジメントはこれまで通り、ヒヤリハットやアセスメントを通して実施していく	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2026 年 1月18日 (16:30 ~ 17:00)
9. 人権・プライバシー	メンバー	道本泰之・宮崎恭子・花田愛子・岡田有沙・弘谷智子・岩田真由美・松田喜子・河野美穂・増野真弓・浅田律子・秋山寿美枝

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	8人	2人	1人	人	11人

前回の改善計画	
	・プライバシーの保護を心掛け、利用者様一人一人にあった介護を提供していくよう努める ・スタッフ専用の部屋を設置してほしいと意見を出していく
前回の改善計画に対する取組み結果	
	・プライバシーの保護、一人一人にあった介護はできた

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	11人				11人
②	虐待は行われていない	11人				11人
③	プライバシーが守られている	4人	6人	1人		11人
④	必要な方に成年後見制度を活用している	8人	3人			11人
⑤	適正な個人情報の管理ができている	7人	4人			11人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・身体拘束虐待はなかった ・一人一人の人権、プライバシー保護に努める事ができた ・成年後見人制度も必要と思われる場合には、地域包括支援センターと連携し家族様へ説明し利用した

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
	・スタッフ専用ルームは建物の構造上難しく、小規模ホールの片隅で休憩を取るしか出来ていない ・職員間で利用者様等の話をする際、大きな声の職員がいて利用者に聞こえてしまう事があった ・朝礼、終礼時の情報共有も泊まりの利用者様や朝早く来所の利用者様も居られるため、見守りをしながらの対応となるため配慮が必要

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	・身体拘束や虐待のないようアセスメントをしっかりし、必要な対応方法を共有する ・ご利用者様の人権・プライバシーが守られるよう、カンファレンスや情報共有等は利用者様に配慮し行うようにする

(別紙 2 - 4)

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人みやうち	代表者	野村陽平	法人・事業所の特徴	併設の病院を中心とした、近隣事業所との交流を行い、ご利用者が閉じこもることのない環境を提供している。また、個々の健康に配慮し、体調の変化に注意しながら、病院スタッフとも連携をとり、異常の発見に努め、ご本人はもちろんご家族にも安心して生活して頂けるようにしている。
事業所名	小規模多機能ホーム宮内温泉湯治の館ひまわり	管理者	増野真弓		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	2人	1人	1人	1人	1人	3人	人	11人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	引き続き、ご利用者様の心身の状態や生活を理解するようしていく。外部での研修にも参加し、個人の介護レベルを上げていくようにしていく。	家族等からもこまめに情報を得るようにし、職員間で共有し、対応方法や支援のアプローチの仕方等工夫を行った。外部の研修は一部の職員ではあったが参加できた。	色々な事を考え実践し、大変だなあと感じた。今後も頑張って行って欲しい。	家族様、地域の皆様にも協力を得て情報共有し、ご利用者様それぞれにあった支援ができるようにする
B. 事業所のしつらえ・環境	季節を感じてもらえるような作品を利用者様と一緒に作り、ホーム内の環境作りに取り組んでいく	レクリエーションの担当者を中心に、職員全員で作品つくりの下準備をし、利用者様個々の能力に応じ一緒に作品づくりを行った。常に季節に合った作品をホーム内に飾ることができた。	利用者様も作品づくりに楽しそうに参加されている様子が、写真を見せてもらって分かった。今後も作品を飾ってホーム全体を明るく楽しい雰囲気にしてもらえたらと思う。	居心地の良い空間となるよう、工夫し環境整備していく
C. 事業所と地域のかかわり	小規模について知ってもらい相談してもらえよう、市内の小多機、看多機と一緒に具体的な計画をたてて地域に出向いていく	地域の事業所と情報交換はでき、お互い良いところを真似たりし良い刺激となった。地域の防災研修やイベントにも参加できた。市内の小多機との関りをもつことができなかった。	「小規模多機能居宅事業所」というものを地域にアピールできていないところもあるので工夫が必要。地域の会議等にもっと参加出来たらよい。	民生員さんや地域包括支援センター等と連携を図り、地域との関わりを増やせるようにする
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	引き続きn-caféへ参加し地域の方と交流する。宮内市民センターの行事（利用者様の興味のある）に、年に1回は参加する	毎月n-caféへ参加する事ができた。市民センター行事にも今年は多くの人数参加でき、小多機のことを知ってもらえるきっかけが出来た。改善計画通り実施できた	地域行事に参加してもらえて、小多機が存在や利用されている人を楽しんでもらえ良かった。誕生日に地域のカフェ等に行って楽しみを持つという企画はとても良いと思う。	地域でのイベントや行事、日々の買い物等に一緒に出向き、地域での生活を支援する
E. 運営推進会議を活かした取組み	事業所のことだけではなく地域の心配事など気軽に話し合える場にしていきたい	地域の民生員委員さんに声をかけ、3名の方に新たに参加してもらい地域の活動や情報交換できた。	小規模での活動報告や参加者から地域の情報を得ることは出来た。（近くの看多機と）お互いの運営推進会議に参加することで刺激になり「私たちも頑張ろう！」という気持ちになれよかった。	運営推進会議に参加して頂いている方から地域の情報を得たり、小規模の活動情報を継続的に発表していく
F. 事業所の防災・災害対策	毎月の防災訓練の様子を報告する宮内地区の看多機ホームとBCPの訓練を行い災害が起きた時助け合える関係を作る	毎月の防災訓練の様子を報告することはできた。看多機ホームとは災害時の対応として、それぞれのご利用者様の避難場所の確認等事業所で確認した。訓練を一緒に行うことは出来なかった。地域の防災研修に参加した。	運営推進会議を通して、防災訓練を行っている事がわかった。今後も継続してほしい。今後地域住民等と防災について考える場があったら良い。	毎月継続し防災訓練を行っていく地域の防災・災害対策を知り、事業所でも取り組めることはないか考える。